

2 いわき市復興のあゆみ (写真・年表)

【平成 23(2011)年 3月～平成 26(2014)年 1月】

平成 23(2011)年



①



②



③



④



⑤

- | | |
|----|--|
| 3月 | <p>11日 ■東日本大震災（東北地方太平洋沖地震〔午後2時46分、マグニチュード9.0、震度6弱〕）が発生</p> <p>■「いわき市災害対策本部」を設置</p> <p>■市海岸部に大津波が襲来（午後3時40分前後）①</p> <p>12日 ■福島第一原子力発電所で水素爆発が発生（16日にかけて重大事故発生）②</p> <p>■「支援物資集配センター」の開設を決定。市内避難所に対して、支援物資などを配送（～8月20日）</p> <p>13日 ■市独自の判断で、久之浜・大久地区住民に自主避難を要請</p> <p>■市総合保健福祉センターで放射線スクリーニングを開始</p> <p>15日 ■市独自の判断で、小川および川前地区の一部住民に自主避難を要請</p> <p>■政府から、福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の屋内退避指示が発令（久之浜町、大久町、小川町、川前町の一部が対象区域に設定）</p> <p>16日 ■「いわき市災害救援ボランティアセンター」を開設</p> <p>18日 ■市独自に、妊婦、40歳未満の方に安定ヨウ素剤を配布③</p> <p>■高速バスいわき－東京線が再開（以後、順次高速バス区間が開通）</p> <p>■緊急物資輸送船第1便が小名浜港に入港</p> <p>21日 ■常磐自動車道いわき中央IC－水戸ICの一般車両通行止めが解除（物流が徐々に再開）</p> <p>■一般家庭に対して、公民館で支援物資を配布（28日まで計6回）</p> <p>23日 ■市中央の山間部を震源とする震度5強の地震が3度発生</p> <p>25日 ■政府から、福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の自主避難が促される</p> <p>30日 ■家庭から出た災害ごみの受け入れを開始（～平24.3.31）</p> |
| 4月 | <p>1日 ■市は市建設業協同組合と「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」を締結</p> <p>4日 ■市はごみ収集を全面再開</p> <p>■市はり災証明書の発行を開始（～平24.9.28）</p> <p>6日 ■市は敷地内流出ガレキの撤去を開始（～7月末）</p> <p>9日 ■市は「がんばっぺ！いわき、オールいわきキャラバン」を市内で開催</p> <p>10日 ■津波や地すべりの被災地区を除き、市内水道がほぼ復旧</p> <p>11日 ■市南西部を震源とする震度6弱（マグニチュード7.0）の地震が発生④</p> <p>■誘発地震により、市内約10万戸がふたたび断水</p> <p>■市は住宅の応急修理制度の申請受け付けを開始</p> <p>12日 ■市外近隣地を震源とする震度6弱（マグニチュード6.4）の地震が発生</p> <p>■市は「がんばっぺ！いわき、オール日本キャラバン」をこの日の東京都港区開催を皮切りに全国で展開⑤</p> <p>16日 ■市は一時提供住宅（民間借上げ住宅など）提供を開始</p> <p>■市は義援金の配分を開始</p> |



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

- 5月 20日 ■津波や地すべりの被災地区を除き、市内水道がほぼ復旧
- 5月 22日 ■福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の屋内退避指示が解除（市内全域が国で定める原発関連の規制区域外へ）
- 5月 25日 ■市は市内全小・中学校へパン・牛乳の提供を開始
- 5月 28日 ■JR常磐線の特急列車いわき駅～上野駅の運転が再開
- 5月 2日 ■市内全小・中学校へパン・牛乳に副食物を加えた簡易給食の提供を開始
- 5月 31日 ■小名浜港が「石炭」分野において、国際バルク戦略港湾として選定
- 6月 1日 ■「いわき市東日本大震災復興本部」を設置
- 6月 1日 ■市は建物解体のための申請受け付けを開始（～平24.3.30）
- 7月 17日 ■秋篠宮ご夫妻が市内被災地をご視察⑥
- 7月 1日 ■市は災害対策本部に原子力災害プロジェクトチームを設置
- 7月 5日 ■市独自に「市長が定める自主避難区域」を設定（川前町の一部）
- 8月 12日 ■「原発避難者特例法」が施行され、いわき市ほか12町村が指定へ
- 9月 20日 ■市内のすべての避難所が閉鎖
- 9月 20日 ■市は生活空間改善事業の申請受け付けを開始（～12月15日）
- 9月 30日 ■「いわき市復興ビジョン」を策定
- 10月 1日 ■21世紀の森公園で「がんばっぺ！いわき大復興祭」を開催⑦
- 10月 18日 ■「いわき市復旧計画」を策定
- 12月 21日 ■「いわき市除染実施計画」を策定
- 12月 26日 ■「いわき市復興事業計画」（一次）を公表

平成 24(2012)年

- 1月 1日 ■市は危機管理室および原子力災害対策課、保健所内に放射線健康管理センターをそれぞれ新設
- 1月 10日 ■市は保育所や学校で使用する食材について、放射性物質の検査を開始
- 2月 12日 ■「復興祈念 第3回いわきサンシャインマラソン」を開催⑧
- 3月 11日 ■「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い 2012」を開催。市内各地で追悼式などが行われる⑨
- 4月 1日 ■市は都市復興推進課を新設。小名浜、勿来の両区画整理事務所を増強
- 5月 22日 ■市は(社)いわき市薬剤師会と「災害時の医療救護活動等に関する協定」を締結
- 5月 28日 ■市は内部被ばく検査に、ホールボディカウンターを導入
- 6月 7日 ■復興特別区域法に基づく「市復興整備協議会」が設立
- 7月 1日 ■市は携帯電話による災害情報などの緊急速報メールの配信を開始
- 8月 16日 ■県内で唯一、勿来海水浴場が2年ぶりで海開き
- 8月 1日 ■いわき市長と双葉郡8町村長との意見交換会を開催
- 8月 11日 ■「道の駅よつくら港」が再オープン⑩
- 8月 17日 ■市は平成20年度策定の津波ハザードマップをベースとして「暫定版」を策定
- 8月 28日 ■いわき市長が町外コミュニティについて双葉郡4町と意見交換
- 9月 18日 ■市は「宿泊旅行促進事業 応援ありがとう！幸せを運ぶ4,000円クーポンキャンペーン」を開始
- 9月 22日 ■国、県、関係市町村による「長期避難者等の生活拠点の検討のための協議会」が開催

2 いわき市復興のあゆみ (写真・年表)



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮

- | | | |
|-----|-----|--|
| 10月 | 1日 | ■市は部局横断プロジェクト組織「見せます！いわき情報局 見せる課」を開設⑪ |
| | 6日 | ■「いわき小名浜みなとフェスティバル」が開催(～8日) |
| | 29日 | ■災害公営住宅の建設に着手(常磐関船町で起工式) |
| 11月 | 7日 | ■久之浜町で海岸災害復旧の合同起工式が開催 |
| | 14日 | ■小名浜港大剣埠頭コンテナターミナルのガントリークレーンが稼動再開⑫ |
| | 16日 | ■日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「エリエール レディスオープン」が勿来町で初開催(～18日) |
| | 21日 | ■県地域防災計画において、いわき市全体が暫定的な重点地域として「緊急時防護措置を準備する区域(UPZ)」に指定 |
| 12月 | 14日 | ■誘発地震による土砂崩れで暫定開通となっていた、主要地方道いわき-石川線の田人町地内が再開通 |
| | 18日 | ■市は(社)福島県トラック協会いわき支部と「支援物資の物流や燃料の供給に関する協定」を締結 |
| | 19日 | ■いわき市屋内遊び場「いわきっず もりもり」が「ほるる」内に、「同ふるふる」が南部アリーナにそれぞれ開設(平成25年3月には、海竜の里センターに「るんるん」)⑬ |
| | 26日 | ■「いわき市復興事業計画」(二次)を公表 |

平成 25(2013)年

- | | | |
|----|-----|---|
| 1月 | 9日 | ■平北部学校給食共同調理場が再稼動(4/15日＝「四倉」) |
| | 23日 | ■市は(社)いわき歯科医師会と「歯科医療救護活動等に関する協定」を締結 |
| | 30日 | ■市は「親子・兄弟都市災害時応援協定」を締結(いわき市、由利本荘市、延岡市) |
| 2月 | 10日 | ■「復興元年 第4回いわきサンシャインマラソン大会」を開催 |
| 3月 | 10日 | ■「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い 2013」を開催。市内各地で追悼式などが行われる(～11日) |
| | 13日 | ■「いわき市地域防災計画(原子力災害対策編・暫定版)および原子力災害避難計画(暫定版)を策定 |
| | 23日 | ■第85回選抜高校野球大会の「21世紀枠」で、県立いわき海星高校が初出場⑭ |
| | 27日 | ■久之浜町末続および同金ヶ沢の両地区について、防災集団移転促進事業に伴う移転先の合同起工式が開催 |
| | 29日 | ■「いわき市除染実施計画」(改訂版)を策定 |
| 4月 | 12日 | ■市は福島県法面保護協会いわき支部と「災害時における応急対策の応援に関する協定」を締結 |
| | 23日 | ■市は東京都港区と「災害時相互協力協定」を締結 |
| 5月 | 1日 | ■市は気象・地震などの各種情報を電話で確認できる電話応答サービスを開始 |
| 6月 | 1日 | ■市は『夏休み！幸せを運ぶ最大12,000円クーポン』を発行 |
| | 10日 | ■市内初となる防災集団移転促進事業による移転先引き渡し手続きが錦町須賀で開始 |
| | 13日 | ■市はJAいわき市、JAいわき中部と「災害時における精米等物資の供給協力等に関する協定」を締結 |
| | 19日 | ■小名浜港外貿定期コンテナ航路(韓国・中国)の寄港が再開 |
| 7月 | 13日 | ■福島洋上風力実証研究事業の開始式が小名浜港で開催⑮ |
| | 15日 | ■昨年の「勿来」に続き、四倉海水浴場が3年ぶりで海開き |
| | 21日 | ■「ふくしま復興祭」が21世紀の森公園で開催(～22日) |



16



17



18



19



20

- 8月 22日 ■ 2013年プロ野球オールスターゲーム第3戦がいわきグリーンスタジアムで開催¹⁶
- 24日 ■ 復興庁、県、いわき市などの関係19市町村で構成する「コミュニティ研究会」が開催
- 24日 ■ 市は津波被災地区の住宅再建費用などを補助する「市津波被災住宅再建事業補助金」の創設を発表（8月から申請受け付け開始）
- 6日 ■ 市は21世紀の森公園内への災害時拠点施設整備を発表
- 12日 ■ 双葉・いわき方部の市町村長と県知事の初めての意見交換会が開催
- 22日 ■ 被災者の生活再建のため、全入居者世帯を対象に災害公営住宅の家賃減免を発表
- 28日 ■ 原子力規制委員会が、福島第一原子力発電所から漏れた高濃度汚染水の状況が事故評価尺度でレベル3と評価
- 9月 31日 ■ 市総合防災訓練が市内で開催¹⁷
- 4日 ■ 「震災後の土地利用に関する懇談会」が開催
- 8日 ■ 市長選挙で、新たに清水敏男氏が当選
- 20日 ■ 市南西部を震源とする震度5強（マグニチュード5.9）の地震が発生
- 10月 1日 ■ 市防災メール配信サービスの運用を開始
- 7日 ■ 清水市長が、双葉郡8町村長と初めての懇談会を開催
- 18日 ■ 市漁業協同組合などが、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水問題で延期していた底引き網漁の試験操業を開始¹⁸
- 19日 ■ 小名浜魚市場（小名浜港1号ふ頭）・関連施設（1号ふ頭および小名浜字栄町地内）建設のため安全祈願祭を挙行
- 22日 ■ 市災害公営住宅の受け付けを開始（～12月24日）¹⁹
- 31日 ■ 全国初、震災ガレキを使用した夏井海岸（平下大越）の海岸堤防（高さ7.2m、延長920m）が完成²⁰
- 11月 11日 ■ 浮体式洋上風力発電所「ふくしま未来」が実証研究事業として稼働、小名浜の「いわき・ら・ら・ミュウ」で運転開始式を開催
- 24日 ■ 岩間・小浜地区合同で、市内初となる市震災復興土地区画整理事業の安全祈願祭を挙行（12/11＝久之浜、12/15＝豊間・薄磯、12/18＝小名浜港背後地）
- 29日 ■ 市は関東圏の女性を対象とした観光プロモーションを開始（～3月31日）
- 12月 1日 ■ 市はインターネットを活用した宿泊割引キャンペーン「カモン！いわき市 最大12,000円クーポンキャンペーン」を展開（～3月31日）
- 16日 ■ 市は日本電信電話(株)福島支店と「特設公衆電話の設置・利用に関する覚書」を締結
- 19日 ■ 小名浜港が「特定貨物輸入拠点港湾」に指定

平成 26(2014)年

- 1月 14日 ■ 市は「災害時相互応援協定」を締結（いわき市、宇部市）
- 23日 ■ 市は「災害時における物資供給に関する協定」を締結（いわき市、NPO法人コメリ災害対策センター）
- 30日 ■ 市内で初めて、「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」の安全祈願祭が四倉町下仁井田で挙行
- 31日 ■ 「いわき市復興事業計画」(三次) を公表

【例言】 1 図、写真などの表示番号については、たとえば第一章の最初の図は、「図1-1」というように表記する。
 2 年号については、各項目の初出の部分について和暦・西暦を表記し、その後は和暦のみを表記する。
 3 本書に掲載している市撮影以外の写真については許可されたものであり、無断による転載を禁止する。
 4 特段の記述がない場合は、平成26(2014)年1月末現在の状況とする。